

『 Poems for Peace ～平和の詩～』

紛争下の子どもたちが綴る平和への思い』



©UNICEF/UNI546818/Joseph

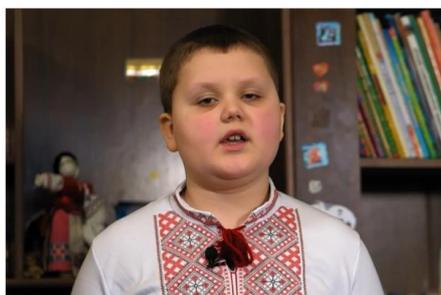
◀ 「何よりもほしいのは ハイチが元の姿にもどること」
ロニアリッサさん（17歳）ハイチ

「子どもらしく過ごす時間が
奪われた」サマルさん（11歳）
スーダン ▶



©UNICEF/UNI547330/Elfatih

「緑っぱいの原っぱを歩くのが好き」
ティムールさん（9歳）ウクライナ ▶



©UNICEF/Video

日時：9月11日（木）～9月15日（月祝）10時～15時
（あいち国際女性映画祭期間中）

場所：ウィルあいち（愛知県女性総合センター）1階交流サロン

参加費：無料 どなたでも自由にご鑑賞いただけます（予約不要）

- 世界には、紛争地域で暮らしている、または紛争地域から逃れようとしている子どもが4億人います（2023年時点）。これは世界中の子どもの5人に1人にあたります。紛争の激化によりこうした子どもたちは故郷を追われて避難を余儀なくされたり、極度のトラウマを負っていたりします。また、医療や教育を受けることも困難な状況に置かれています。
- ユニセフは2020年より、紛争下で暮らす子どもたちが自分の想いを詩に綴り、その声を届ける「Poems for Peace～平和の詩～」という取り組みを世界各地で行っています。この取り組みは子どもたちや若者が、紛争が自分たちの生活に与えている影響や平和な未来への希望、そして夢について、自らの言葉で自由に表現する機会を提供しています。これまでに、ウクライナ、シリア、アフガニスタン、エチオピア、ミャンマー、ソマリアなどで、紛争や戦闘の影響を受けている8歳から24歳までの子どもたちや若者が、この取り組みに参加してきました。
- 紛争が子どもたちの日常に与える影響や子どもたちの願いに思いを馳せ、一人ひとりにとっての平和とは何かを一緒に考えていただけると嬉しいです。